

未定稿

(仮)一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略

「トカイナカ（都会と田舎）」で、
子育てにやさしく安心して暮らせるまち

～木曽川が育む自然と都心まで 10 分の利便性を活かした心安らぐまちづくり～

「トカイナカ（都会&田舎）」で、
子育てにやさしく安心して暮らせるまち

～木曽川が育む自然と名古屋駅まで 10 分を活かした心安らぐまちづくり～

平成 28 年●月

一宮市

はじめに

日本の人口は2008年の1億2,808万人をピークに減少に転じ、出生率低下に伴う若年人口の減少と超高齢社会を迎えています。今後この傾向は加速度的に進み、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」によると、2060年には、日本の総人口は8,674万人程度まで減少していくと推計されています。

人口の減少は消費市場の規模縮小を引き起こすとともに、地域経済の衰退や、高齢者の増加による社会保障費の財政圧迫等、日本の社会に大きな影響を及ぼすこととなり、既に「危機的状況」に直面しつつあるといえます。

これに対し政府は、平成26年12月に、国と地方が総力を挙げて人口減少と地方創生に取り組むため、人口の中長期展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後5か年間の施策の基本的方向や具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定し、地方と協力して、直面する諸課題に取り組むはじめました。

本市の人口動向については、2012年までは出生数が死亡数を上回る、いわゆる「自然増」となっていますが、2013年に初めて死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態となりました。

一方、社会増減については、年による変動はあるものの、一貫して「社会増」の傾向が続いています。しかし、全体での人口増減を見ると、2013年以降は初めて自然減が社会増を上回り、人口減少の局面を迎えています。

本市においても、人口減少の克服と地方創生という課題に対して、国や県の総合戦略を勘案しつつ、地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定とその諸施策を全庁的に取り組むため、「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置しました。また、目指すべき本市の将来像や施策・事業の基本目標・基本的方向について、産業界・行政機関・教育機関・金融機関・労働団体・メディアの関係者及び市民で構成する「一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議」や市議会協議会において、幅広い意見等をお聴きしました。

今後目指すべき将来像を見定め、人口減少克服と地域活性化につなげられるよう、持続的な発展のための道筋として、この「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

目 次

はじめに

第1章 総合戦略の策定方針	1
1 策定の趣旨	1
2 地域特性と地域課題	1
(1) 地域特性	1
(2) 地域課題	2
3 策定の基本的な考え方	3
4 基本姿勢	5
5 政策5原則の実現	5
6 策定の視点と基本目標	6
第2章 計画期間	6
第3章 総合戦略の推進体制等	7
1 本市の推進体制	7
2 進捗管理・検証体制	7
第4章 基本目標と施策	8
「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる	
① 多様な手段による企業誘致の推進	8
② 尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化	9
③ 既存産業の育成・支援	9
④ ワーク・ライフ・バランスの推進	10
「一宮らしさをアピールし、人が集まる魅力あるまち」をつくる	
① 魅力ある集客イベントの開催	11
② シティプロモーションの展開	12
③ 歴史・伝統、文化、新しい魅力発見による観光手法の導入	12
④ 一宮の名産品・特産品の育成とPR	13
「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる	
① 市内への定住・移住の促進	14
② 自然と親しめる木曾川沿川の整備	15
③ する・みる・ささえるスポーツの振興	15
④ にぎわいを創出する中心市街地の活性化	16
「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる	
① 気軽に参加できる出会いの場の提供	17
② 妊娠・出産・子育てに対する支援	18
③ 安心して子どもを預けられる環境の整備	18
④ 経済的支援による子育て世代の負担軽減	19
⑤ 快適な学習環境の整備	19
⑥ 創意工夫をした教育内容の実施	19
「安心して快適に暮らせるまち」をつくる	
① 行政と地域が一体となった防災・防犯対策の推進	21
② 新たな地域公共交通の検討	22
③ 行政サービスの推進	22

参考資料（人口動態資料、アンケート調査結果 等）

第1章 総合戦略の策定方針

1 策定の趣旨

急速に進展する少子高齢化・人口減少という日本が直面する大きな課題に対し、国と地方が一体となって取り組み、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、平成26年11月に公布・施行された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国は2060年に概ね1億人程度の人口を確保する中長期展望を示した「まち・ひと・しごと長期ビジョン」と、政策目標及び施策を示した「まち・ひと・しごと総合戦略」を策定しました。

この「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、人口ビジョンにおける将来展望を踏まえ、人口減少と地域経済の縮小という課題を克服し、活力あるまちを維持・発展させるため、その目標の実現に向けて、国・県の総合戦略を勘案しつつ、平成27年度から5年間で取り組むべき基本目標や施策の基本的方向と、その具体的な施策をまとめたものです。

2 地域特性と地域課題

本市は、木曾三川の流れが育んだ肥沃な濃尾平野の中央に位置し、平坦な地形の上にあります。また古くは鎌倉街道、東海道と中山道を結ぶ美濃路、尾張と美濃を結ぶ岐阜街道といった重要な交通の要衝地として、これまで多くの人がこの地に集い、住み続けてきました。

近年は、東西の大動脈である東名・名神高速道と日本海を結ぶ東海北陸自動車道が走り、市内に4つのインターチェンジと1つのジャンクションがあつて、昔と変わらぬ交通や物流の要衝地となっています。

こうした歴史的・地理的背景をもとに、本市の地域特性及び地域課題を明らかにします。

(1) 地域特性

○ 交通の面では、鉄道のJR東海道本線と名鉄名古屋本線が市域の中央を縦断し、名鉄尾西線や路線バス等の交通インフラも充実しており、名古屋（快速10分）と岐阜（快速8分）へ近いという利便性から、短時間での通勤通学が可能となっています。

○ 観光の面では、木曾川沿いにある国営138タワーパークや河川環境楽園といった自然に触れ合える大規模公園があり、休日には家族で過ごす姿が見られます。

また、高速交通網の結節点にあるため、市内にある最寄りのインターチェンジから1時間ほど走るだけで、北は自然豊かな奥美濃地方、西は近江牛・米どころの湖東地方や北陸自動車道経由で日本海の魚介類で知られる敦賀地方と、充実した休

日を過ごせる環境があります。

- 定住の面では、平成25年住宅・土地統計調査によると、1住宅当たり延べ床面積や持家率について県内のトップクラスという良好な居住環境となっていて、定住を求めて転入する方が多くある理由が分かります。
- 子育ての面では、農繁期託児所として始まり、大正15（1926）年には早くも市営一宮保育園が開設され、人口増加及び市域拡大とともに園数は増え、現在市内には公立68保育園と私立25幼稚園があります。社会情勢の変化で共働き世帯が増える中であって、高まる保育需要に対し積極的な待機児童対策を進めています。
- 産業の面では、世界でもトップクラスの繊維技術を持つテキスタイル産業があり、製造業における繊維工業の製造品出荷額は県内で1位、全国でも2位となっています。市内には繊維をはじめ食料品、プラスチック製品等の製造業従業者が多く、製造業をはじめとした企業数は県内同規模市の中で最多です。
また、「元気なものづくり300社」や「愛知ブランド企業」に認定されている独自の優れた技術力を有する企業が多数存在しています。

(2) 地域課題

- 交通の面でのインセンティブ（優位性）を活かした企業誘致が既存の土地規制等の障壁のため進んでおらず、大胆な土地利用の見直しが必要となっています。
- 観光の面では、市内に観光資源が少なく、また中心市街地のにぎわいが欠けており、若い世代向けのイベントや魅力的な施設が少ない状況です。観光面をはじめ市政全般について、地域の魅力の発掘や積極的な情報発信等を戦略的に展開するシナジプロモーション等、「選ばれるまち」であるための取組みが必要となっています。
- 定住の面では、利便性の良い地区の市街化促進のほか、人口ビジョンで示すように、今後、市内全域で顕在化する空き家等の未利用資産を積極的に活用できるよう、各種施策が必要となっています。
- 子育ての面では、人口ビジョンの各種アンケート調査結果から、子育て世帯及び結婚や卒業を契機に引越す人が、引き続き市内に居住してもらえる環境を整えることが必要です。
特に子育て施策においては、仕事と育児との両立への不安を解消するために、待機児童が出ている小学校以降の子ども預け先を確保する取組みや、子育てに掛かる各種費用の軽減等、幅広い支援が求められています。
- 治安の面では、市内の犯罪発生件数は他市と比較して突出している訳ではありません。

せんが、人口ビジョンのアンケート調査等においても治安が良くないと感じる市民が多く、市民イメージと現実とのギャップを新たな施策を通して埋める必要があります。

- 産業の面では、基幹産業として発展してきた繊維産業において、その基盤である中小企業において高齢化による事業継続が困難な状況に直面しており、「尾州」の技術力衰退を招きかねない状況にあります。

3 策定の基本的な考え方

- これまで平均寿命の伸びと堅調な社会増によって、戦後一貫して増加してきた本市の人口は、2013年に初めて自然減が社会増を上回り、人口減少の局面を迎えました。初婚年齢の上昇という晩婚化や未婚率の上昇、低水準から伸び悩む出生率による少子化の状況下で、加速度的に進展する人口減少は、消費市場の規模縮小のみならず、生産年齢人口の減少による地域経済の縮小を招き、地域社会の経済力低下やインフラ維持に困難をもたらすこととなります。「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに落ち入ろうとしています。この負の連鎖を断ち切り、「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込むことで、新たな人の流れを生み出し、それを支える「まち」に活力を取り戻すという好循環を生み出すための取り組みが重要となります。
- 本市は、愛知県の県庁所在地である名古屋市と岐阜県の県庁所在地である岐阜市の中間に位置し、郊外に大規模な公園や田園が広がる、都市と自然が調和した住環境に恵まれています。名古屋市と岐阜市を結ぶJR東海道本線の尾張一宮駅及び名鉄名古屋本線の名鉄一宮駅があり、通勤通学の利便性が非常に高く、加えて市内に4つのインターチェンジがあり高速交通網も充実しており、関東・関西・北陸のいずれの方面に対してもアクセスが非常に近くて容易な地理条件にあります。また、2027年に予定されているリニア中央新幹線の開通は、本市にとっても首都圏とのアクセスがさらに容易になり、国民生活や経済活動にも大きな変革をもたらすことが予測され、首都圏を交流圏域のターゲットとして捉えることが可能となってきます。恵まれた公共交通インフラとその利便性の高さを積極的にアピールし、新たな人の交流を生み出すとともに、住みやすい魅力あるまちづくりを推進し、定住人口の増加を目指すことが必要となります。
- 特に、若い世代が希望する時に結婚し、安心して妊娠・出産・子育てできる環境を整えるため、子育て世代に対する医療費等の経済的負担の軽減をはじめ、保育や一時預かり、学童保育等の更なる充実等、仕事と家事・育児の両立を可能とするための環境整備に積極的に取り組むことも重要となってきます。関係機関・団体等、いろいろな主体と連携しながら、若い世代の結婚・妊娠・出産・子育て

に対する希望をかなえることのできるよう、取り組まなければなりません。

- 長年、本市の基幹産業として発展を遂げてきた繊維産業については、1973年のオイルショック以降、中国・東南アジア等の安価な労働力による低廉な輸入製品の増加で、極めて厳しい経済環境下に長く置かれてきました。しかし、逆風の中にあつて、繊維関連企業の中には高い技術や強い競争力を持ち、活動する企業も出てきています。これまでに培ってきた尾州地域の高い技術力やノウハウを生かした付加価値の高い、稼げる製品づくりを一層進め、世界的に著名なブランドやデザイナーとのコラボレーションを通じ「尾州」ブランドを世界的に確立できるよう、国内はもとより世界に向けた積極的な情報発信等も必要です。

一方で、繊維産業に代わる産業として、本市の新たな主要産業となるべき産業の候補を検討して企業誘致の積極的な推進を図るほか、企業誘致の障壁となっているこれまでの土地利用の見直し等に取り組み、雇用の場の確保を一層推進していくことも重要です。

また、都市近郊農業として営まれてきた地場産農産物の地産地消の一層の推進、市場拡大を図るための農産物や農産加工品のブランド化のほか、農業の6次産業化等も検討しなければなりません。

- 本市への定住促進という課題解決に向けた取組みとしては、その土台となる地域のまちづくりが重要です。まちづくりにおいては、市民の関心が高い安心・安全な生活を送ることができるよう、防災・防犯対策等が充実したまちづくりを進めねばなりません。

防災の面では、近い将来、必ず発生すると言われる南海トラフをはじめとした大地震に対し、平常時から災害発生時における情報収集・発信や支援体制を官民一体となって取り組む強いまちづくりを進めます。また防犯の面では、犯罪のない安全安心なまち実現のため、防犯カメラ設置等による防犯対策の強化に取り組むことも必要となってきます。

また、循環バス（i-バス）・生活交通バス等の地域公共交通の見直しや、本市独自の制度により、地域住民が主体となった取組みや地域のつながりの強化を図っていくことも重要となってきます。

- こうした基本的な考え方のもと、本市の強みや潜在能力を活かし、中長期的に希望ある持続可能な将来に向けての諸施策を進めるため、現行の諸計画との整合性を保ちつつ、本市の総合戦略としてのテーマを定め、これにかかる基本目標と基本的方向、そして実施すべき諸施策を総括したものとします。

4 基本姿勢

- ① 優先度・効果の高い施策に重点的に取り組むとともに、多角的な視点から施策を立案します。
- ② 本市の持つ強み、魅力、ポテンシャル等を最大限に活用できる施策を立案します。
- ③ 全庁横断的に取り組むとともに、市民、関係団体・機関等との連携・協働を図りながら、総力を結集しスピード感を持って取り組みます。

5 政策5原則の実現

各施策は「国の政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）」に準じ、本市総合戦略の政策5原則を次のとおり定め、施策の効果的な推進を図ります。

① 自立性

市民をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体、メディアの協力のもと、オール一宮で地方創生の実現に向けて取り組みます。各施策については市単独事業の実施はもとより、国・県の総合戦略との連携、補助事業の積極的活用した官民連携により、さらに効果的に事業を推進します。

② 将来性

地域経済を活性化させ、将来を担う子どもたちが健やかに育つ環境を整えることで、将来にわたって活力あるまちの維持を目指します。

③ 地域性

木曾川の恩恵に浴し、緑や水が豊かな濃尾平野に位置し、災害も少なく居住環境に優れています。産業面では、伝統のある繊維の街として繁栄し、毎年7月下旬に開催される「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」は、市内外から延べ100万人を超える人々が訪れる一大イベントとなっています。また、平安の時代から尾張の国の「一之宮」である真清田神社、南北朝時代に創建された妙興報恩禅寺などの歴史的名所や、木曾川沿いの豊かな自然を活かした大規模公園・138タワーパークがあり、こうした本市の特徴・魅力を活かした施策を展開します。

④ 直接性

限られた財源や時間の中で最大限の効果をあげるため、直接的・効果的な施策についてターゲットを絞り、総合戦略の期間中にわたり集中的に実施します。

⑤ 結果重視

各施策は設定した数値目標である重要業績評価指数（KPI：Key Performance Indication）に基づいて検証し、PDCAサイクル（Plan【計画】・Do【実施】・Check【評価】・Action【改善】）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法のもとに、適宜見直します。

6 策定の視点と基本目標

総合戦略の策定に当たっては、国が策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方や政策5原則（自立性・将来性・地域性・直接性・結果重視）、及び4つの基本目標等を踏まえ、本市における人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの好循環の確立を効果的に推進するため、次の視点から基本目標を定め、講ずべき施策に関する基本的方向等を検討し、総合戦略として策定します。

【視点】

- ① 既存産業をはじめ、高付加価値の産業を創出・育成し、地域経済の活性化と雇用の創出・安定を図ります。
- ② 一宮の魅力や活力を活かして交流・定住人口を増やします。
- ③ 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえます。
- ④ 地域と地域をつなぎ、安全で安心な暮らしを実現します。

【基本目標】

- ① 「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる。
- ② 「一宮らしさをアピールし、人が集まる魅力あるまち」をつくる。
- ③ 「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる。
- ④ 「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる。
- ⑤ 「安心して快適に暮らせるまち」をつくる。

《参考：国の総合戦略に示す4つの基本目標》

- ・ 地方における安定した雇用を創出する
- ・ 地方への新しいひとの流れをつくる
- ・ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

第2章 計画期間

総合戦略の計画期間は、平成27年度を初年度とする平成31年度までの5か年間とします。

第3章 総合戦略の推進体制等

1 本市の推進体制

市長を本部長とする「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を設置し、関係部署相互の緊密な連携を図りつつ全庁的に取り組み、総合戦略の策定と各施策・事業を効果的に推進します。

また、目指すべき将来像や施策の基本的方向について、市民をはじめ、産業界、行政、教育機関、金融機関、労働団体、メディアの有識者で構成する「一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議」を設置し、幅広い助言及び意見を聴取するとともに、総合戦略の検証機関として検証を行います。

なお、策定にあたっては、議会からの意見聴取、アンケート調査、市民意見提出制度等、幅広く意見を聴取しつつ、市民との協働や各関係機関との連携を図りながら進め、策定後は必要に応じて総合戦略の見直しを行っていきます。

2 進捗管理・検証体制

総合戦略で取り組む具体的な施策については、総合戦略の計画期間である平成31年度まで、毎年その効果について検証を行うこととします。

各施策に対する実現すべき成果（アウトカム）については、客観的な重要業績評価指数（KPI）の数値目標を設定し、その設定数値等をもとに「一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」及び「一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議」において、各施策・事業の効果を検証するとともに、必要に応じて総合戦略の見直しを適宜行います。

総合戦略の策定、実行から検証、見直しまでの一連のPDCAサイクルの確立により、本総合戦略の目標達成に向けた継続的な取り組みを推進します。

(※以下については、施策の具体的な内容が決定後に修正する予定です。)

第4章 基本目標と施策

基本目標1

「企業誘致や既存産業の活性化により新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる。

地場産業であるテキスタイル産業の高付加価値化を図り、次世代を担う後継人材の育成に取り組むとともに、柔軟な土地政策のもと、企業のニーズや動向にフレキシブルに対応し、稼げる産業・企業の積極的な誘致を推進し、雇用機会の確保と活力のある質の高い働くまちをつくります。

また、農業の6次産業化に対する支援や、地場産農産物や農産加工品のブランド化・高付加価値化と販売促進による市場拡大に取り組み、農業の成長産業化を目指します。

【数値目標】

指 標	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本的方向

- 多様な手段による企業誘致により、新たな産業の定着と雇用を創出する。
- 尾州テキスタイル産業をはじめとする市内産業の活性化により、付加価値を高め稼げる産業を創出する。
- ワーク・ライフ・バランスへの取組みを支援し、働きやすい職場環境整備を創出する。

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

① 多様な手段による企業誘致の推進

国からの農地転用許可権限の移譲に伴い、地域の実情に応じた主体的な土地利用を図るとともに、申請から許可までの所要時間の短縮により、柔軟かつスピード感ある土地施策の展開し、企業誘致を推進します。

また、従来企業誘致促進奨励施策に加え、産業拠点の企業立地を推進するため、優遇措置やインフラ整備等を行い、次世代の付加価値の高い稼げる産業や、

安定した雇用を生み出す企業の誘致を積極的に推進します。

【具体的な事業】

- ・産業拠点の企業立地支援事業
 - ・農地転用許可の権限移譲に伴う柔軟な土地施策の展開
- ※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
○○○○○○	○○	○○
○○○○○○	○○	○○

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

② 尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化

地場産業であるテキスタイル産業の活性化を図るため、次世代を担う人材の発掘と育成を推進し、長年培ってきた尾州産地の技術の伝承と後継者の確保を図ります。

また、尾州テキスタイルの優位性を広く発信するため、海外有名デザイナーや大手アパレル等とタイアップし、品質に優れた生地を生かした新たなブランドとなる製品づくりに取り組みます。

【具体的な事業】

- ・尾州の匠ものづくりリレー事業
 - ・デザイナーツアーによる尾州生地と有名アパレルブランドとのマッチング
- ※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
○○○○○○	○○	○○
○○○○○○	○○	○○

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

③ 既存産業の育成・支援

地場産農産物・農産加工品のブランド化や、農業の6次産業化・成長産業化を意識し、地産地消を一層推進するとともに、市場拡大のための販売促進を図ります。

また、市が保有するオープンデータの積極的な公開を図り、民間事業者や専門家等による新たな事業等の探求等を目的とした利活用を促進し、地域産業の活性化を図ります。

【具体的な事業】

- ・一宮産農産物・農産加工品販売促進事業
- ・民間で利活用できるオープンデータの公開

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

④ ワーク・ライフ・バランスの推進

官民が一体となってワーク・ライフ・バランスへの取り組みを推進するため、家庭と仕事の両立ができる働きやすい職場環境づくりや、育児や介護に関する支援に積極的に取り組む企業を支援します。

また、家庭と仕事の両立を図ることができる環境づくりに取り組むため、事業所内への保育施設を設置する企業を支援します。

【具体的な事業】

- ・家庭と仕事の両立等に取り組む企業への支援
- ・事業所内保育施設の整備に対する助成

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本目標2

「一宮らしさをアピールし、人が集まる魅力あるまち」をつくる。

歴史や伝統を大切にしながらも、時代に沿った新たな趣向や発想を採り入れ、新たな価値を創造します。

また、名産品や特産品、発祥の地であるモーニング等のオリジナルな食文化等の地域の魅力について、様々なメディアを通じ、積極的に情報発信を行うことにより、多くの人々が訪れるまちをつくります。

【数値目標】

指 標	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本的方向

- 趣向を凝らした魅力あるイベントの開催や積極的なプロモーション活動を通じ、訪れてみたくなる魅力あるまちを創出する。
- 歴史ある文化や伝統の再発見、新しい観光資源の発掘により、魅力あるまちを創出する。
- 名産品や特産品をはじめとしたオリジナルな食文化等の積極的な情報発信により、人をひきつけるまちを創出する。

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

① 魅力ある集客イベントの開催

歴史あるまつりや七夕まつり等の観光客の多いイベントに、新しい発想や趣向を取り入れて魅力に磨きを掛け、更なる観光客の呼び込みを図ります。

また、冬季に「縁結び」をテーマにしたイルミネーションイベントを新たに開催し、交流人口の拡大を図ります。

【具体的な事業】

- ・趣向を凝らした七夕まつりの開催
- ・冬季に「縁結び」をテーマにイルミネーションイベントの開催

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

② シティプロモーションの展開

国内のみならず海外にも目を向けたフィルムコミッションによる映画やドラマ等のロケ地誘致のほか、本市の魅力をSNSやウェブサイト等の様々なメディアを通じ発信するなど、積極的なプロモーション活動を展開していきます。

【具体的な事業】

- ・フィルム・コミッションによる一宮市の知名度アップ
- ・一宮市PR動画制作
- ・一宮の美味しい水プロジェクト
- ・シティプロモーションの推進

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

③ 歴史・伝統、文化、新しい魅力発見のための新たな観光ツールの導入

本市の歴史や伝統、文化等の再発見・再認識ができるように、名所・旧跡等をはじめ、市内をスマートフォン等の位置情報システム（GPS）を利用し、ゲーム感覚で巡ることができる観光ツールを導入します。

また、公衆無線LANの整備を進め、来訪者への観光情報等の発信とともに、行政・防災情報等の発信も併せて行い、利便性の向上を図ります。

【具体的な事業】

- ・位置情報システムを利用した観光ツールの導入
- ・「無料公衆無線LANサービス」の拡大

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

④ 一宮の名産品・特産品の育成とPR

地場産農産物や特産品、名物商品等の普及拡大と販売促進支援のため、定期的に物産展を開催し、積極的なPRによる販路拡大と地場産品の振興を図ります。

また、いちのみや応援寄附金（ふるさと納税）の寄附者に対し市内特産品等を贈呈し、併せて本市の魅力や特産品等の積極的な情報発信を行います。

【具体的な事業】

- ・「いちのみや物産展」の開催
- ・いちのみや応援寄附に対する魅力ある特産品の提供

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（KPI）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本目標3

「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、暮らしたくなるまち」をつくる。

規制緩和等による中心市街地のにぎわいの創出や、幹線道路沿線の良質な住宅地の供給、空き家等の利活用により子育て世代から選ばれるまち、住環境の充実した安心な子育てできるまちをつくりまします。

また、木曽川沿川の自然とのふれあいやスポーツを通じ、子どもから高齢者まで、誰もが健康で楽しく集い、交流できるまちをつくりまします。

【数値目標】

指 標	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本的方向

- 都心まで10分の利便性と田舎ののどかさを併せもつ魅力を活かし、心豊かに暮らせるまちを創出する。
- 木曽川の自然環境を活かし、自然とスポーツに親しみながら健康に暮らせるまちを創出する。
- 中心市街地の活性化により、にぎわいのある魅力あふれるまちを創出する。

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

① 市内への定住・移住の促進

都会の利便性と田舎ののどかさを併せ持つ暮らしやすいまちを積極的にPRし、良質な住宅地の供給や空き家の利活用に対する施策を推進し、子育て世代や若者から選ばれる住みやすいまちをつくりまします。

また、UIJターン就職に伴う市内への定住・移住を広く呼び掛け、定住人口の拡大を図ります。

【具体的な事業】

- ・市街化調整区域内地区計画による良質な住宅地の提供
- ・空き家等対策事業
- ・UIJターンによる定住者獲得

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

② 自然と親しめる木曽川沿川の整備

木曽川の清流が育む自然とのふれあいや、138タワーパークをはじめ、沿川の遊歩道・自転車道等でのレクリエーション等を通じ、多くの人が集い、親しむことができる自然を活かした魅力ある空間を整備します。

【具体的な事業】

・木曽川沿川の自然を活かした魅力づくり事業

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

③ する・みる・ささえるスポーツの振興と健康づくり

木曽川沿川の遊歩道や自転車道、体育施設、公園等を活用し、自らスポーツに親しむとともに、魅力あるスポーツ大会や世界的スポーツイベントに関連する事業の誘致等、様々な機会を通じスポーツの振興を図ります。

また、健康に対する意識を高めるとともに、年齢や性別を問わず誰もがスポーツに触れ親しみながら自ら進んで行う健康づくりを支援します。

【具体的な事業】

・すこやか健康づくり公園整備事業

・ダンスを活用した街づくり事業

・ゆたかな自然を回る自転車ロードレースの開催

・世界的スポーツイベントに関連する事業の誘致

・自ら進んで行う健康づくり

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

④ にぎわいを創出する中心市街地の活性化

中心市街地である一宮駅周辺に新たなにぎわいを創出するため、土地の高度利用により、居住促進を図るとともに商業施設等の立地促進を進め、魅力あるまちづくりに取り組みます。

【具体的な事業】

- ・一宮駅周辺の土地の高度利用によるにぎわいの創出

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本目標4

「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と子どもが健やかに学べるまち」をつくる。

若い世代の結婚に対する希望を実現し、安心して家庭や子どもを持ち、子育てができる、経済的な安定を図ることができるよう環境を整備します。

子育て世代の経済的負担を軽減し、地域社会全体で子育てを応援する環境を整備することにより、安心して出産・子育てできるよう取り組みます。

また、働く母親が安心して子どもを預けられ、仕事と育児の両立ができる環境を整備するとともに、快適な学習環境を整備し、創意工夫した教育内容を実施します。

妊娠初期から出産・子育て期までの一貫した各種相談や情報提供等、ワンストップで行う総合的な相談支援体制を構築し、子育てに対する不安解消や負担軽減を図り、結婚から出産、子育てまで、安心して子どもが育てられるまちをつくります。

【数値目標】

指 標	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本的方向

- 出会い・結婚・妊娠・出産・子育てまでのトータル支援により若者の希望をかなえ、安心して子どもを生き育てられる環境を創出する。
- 安心して子どもを預けられる環境整備と子育て世代の経済的負担軽減により、子育てしやすいまちを創出する。
- 快適な学習環境の整備と創意工夫をした教育内容により、次世代を担う子どもが健やかに育ち学べる環境を創出する。

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

① 気軽に参加できる出会いの場の提供

結婚や異性との出会いや交流を求める若い世代の希望をかなえるため、気軽に参加できる様々な出会いの場を提供します。

【具体的な事業】

- ・ 婚活イベントの開催
- ・ 野外婚活パーティーの開催

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

② 妊娠・出産・子育てに対する支援

安心して妊娠・出産できる環境を整備するため、特定不妊治療に対する助成を充実させ、経済的・精神的負担の軽減を図ります。

また、妊娠、出産から子育て期までの様々な不安や相談に対し、ワンストップで対応する総合的な相談支援体制を構築します。

【具体的な事業】

- ・ 特定不妊治療費補助の充実
- ・ 子育て世代包括支援センターの設置

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

③ 安心して子どもを預けられる環境の整備

放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実をはじめ、安心して子どもを預けられる環境を整備し、子育てに対する不安を解消するための様々な施策を通じ、働く者にやさしいまち、仕事と子育ての両立ができるまちを目指し、安心して子育てのできる環境づくりを推進します。

【具体的な事業】

- ・ 親同士の子育て援助活動支援の導入
- ・ 一宮駅周辺等に開設する小規模保育事業所への補助
- ・ 放課後対策（放課後児童クラブ・放課後子ども教室）の総合的推進
- ・ 電子母子手帳の導入

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

④ 経済的支援による子育て世代の負担軽減

小中学生の入院・通院医療費保険診療分の全額助成をはじめ、多子世帯を対象とした保育料の軽減等、子育て世代の経済的負担軽減を図ります。

【具体的な事業】

- ・小中学生の医療費を無料化
- ・多子世帯を対象に保育料を軽減

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

⑤ 快適な学習環境の整備

次世代を担う子どもが快適に学び・育つ環境を整備するため、小・中学校の普通教室へエアコンを設置します。

また、学生が気軽に学習できる場所として、空き店舗を利用した学習室を整備します。

【具体的な事業】

- ・小中学校普通教室エアコン設置事業
- ・空き店舗を活用した学習室の設置

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

⑥ 創意工夫をした教育内容の実施

「論理的思考」や「ICT（情報通信技術）を活用する力」を養うため、早期から創意工夫をしたプログラミング教育に取り組みます。

また、進展する情報化社会・ネットワーク社会における正しい知識やモラル、危険回避技術・マナー等を、早い段階から身に付けることができるよう、情報モ

ラル教育に取り組みます。

【具体的な事業】

- ・ 情報モラル教育の早期実施
 - ・ 小中学校におけるプログラミングなどの最先端教育の実施
- ※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本目標5

「安心して快適に暮らせるまち」をつくる。

誰もが、安全で安心した暮らしを送ることができるよう、行政と市民と地域が連携し、防災・防犯体制の強化と充実を図り、災害に強く犯罪のないまちをつくります。

また、地域公共交通の更なる利便性の向上や、ICTを取り入れた行政サービスを推進し、迅速かつ利便性を高めて質の向上を図ります。

【数値目標】

指 標	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

基本的方向

- 行政・市民・地域が一体となった防災・防犯対策を推進し、「安全・安心・快適なまち」を創出する。
- 行政サービスの推進により利便性を高め、快適な暮らしを創出する。

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)

① 行政と地域が一体となった防災・防犯対策の推進

安全安心な暮らしを守るため、行政と地域が一体となって防犯カメラの設置に取り組むとともに、地域が設置する防犯カメラの維持に対する支援のほか、公共施設での防犯対策の強化に取り組みます。

また、災害発生時にSNSや災害情報共有システム等を活用し、情報の迅速な発信や情報収集を行い、防災・災害対策の強化に取り組みます。

【具体的な事業】

- ・ SNSや災害情報共有システムを活用した防災・災害情報の発信・収集
- ・ 地域が設置した防犯カメラの維持費補助事業
- ・ 市の施設等への防犯カメラ設置事業

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

② 新たな地域公共交通の検討

新たな地域公共交通のあり方の検討を行います。

【具体的な事業】

・新たな地域公共交通の検討

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。

③ 行政サービスの推進

交通系 I C カードによる証明手数料の納付や、インターネットを利用したクレジットカードによる市税の納付等、時代に即した新たな技術や発想により、利便性を高め、行政サービスの向上を図ります。

【具体的な事業】

・交通系 I C カードによる証明手数料の支払

・インターネットを利用した税のクレジットカード納付の導入

※この他にも、関連する既存事業を記載します。

重要業績評価指数（K P I）	現状値	目標値
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇
〇〇〇〇〇〇	〇〇	〇〇

※各指標・数値等については、各施策の具体的な内容が決定後に設定します。